

夕刊

師走雜記(上)

島田忠夫

焚火
冬になつた。今年の秋の晩の山に狐火のちよろ／＼燃野に出で、わづかに見られる。枯れ草を探しては、野焼きすんばの氣配、押し行つた風であつた。金吾も一生懸命に看張つた。この氣配、その熱心さ、命と言ふものか、それが原因で歸らぬ客となつて、伊達達で通ふ金吾の姿に、野邊の送り、済まして、

「御案内……」と三階から「いらつしやいませ」と女中が降りて来て、横谷門下の一同を、とある座敷へと案内した。同行五人は席についた。

「おは、どんなに出世をする、そ／＼歸りの途に着い、かと思つてゐたのも事實で、竹屋の渡しを渡り、と、金吾の二十才の折、母の料理屋で夕餉をしたら、のお松は風邪の心地で床にゐることになつた。就いたが、自分も、他の人、いらつしやいませ、たも大したことはない、景氣の好い下足番の尻、

三日過ぎても、四日過ぎても、一向によくならない。熱も下らないばかりでは、逆になつて行くと言つた風であつた。金吾も一生懸命に看張つた。この氣配、その熱心さ、命と言ふものか、それが原因で歸らぬ客となつて、伊達達で通ふ金吾の姿に、野邊の送り、済まして、

天気予報
午後 晴
明日 晴
北西の風
一時曇

行發日一十二月二十
東京 電話 八〇一
香五五五・八〇一

凍れる溪

長谷川 銀作

○ところどころ水鏡をこしらへらと谷川の水は氷りけるが、

○山川の氷もはる片より水をやかに流れゆく見ゆ

○山谷の静寂深遠にもり上り寂び寂びとらし天然水

○山間の静寂にのこるさざれ雪に日のさし高を、そぎけ

○山谷の岩が根つた雪みづのしたたり落ちる音を、そぎけ

答立花壽君在在

珠雲 小野務平

訂罪淵樹思類
魚雁飛來忽想神
休笑野人生計拙
竹風松月養天真

△三方ヶ原合戦
(天正元)△桶谷の
湊川碑成る(元祿
五)△帝國政府對支國交
の遊泳振りを美濃守に申
上げたので柳澤家に抱けら
れた。



落首

新年文藝募集

時局に因めるもの制限なし

私育つて東北の市。今でこそ市にはなつたが私の少時の頃は田舎臭い城下町であり、殊に幼時を過した家は、田畑の中に佇し所なつた。門前で焚火する位の落葉は、それこそ良寛の句で、ながい風が持つて来てくれた。家の追憶は私に限りなく興し、いゝ寺の社、そこへ群がる鳥のこゑ、鮎釣によく出かけた地趾の丹後酒、さては冬の身を切るやうな木枯のひ

振袖横町

須藤 謙一
萩原 萬象齋
浪人名抱(三)

平太夫が坪井源次郎の遊泳振りを美濃守に申し上げたので柳澤家に抱けられた。

この者の合弟に金吾と言ふ者があつた。金吾の美男子である。母の松が、この金吾を可愛がること一通ではなかつた。さう云はれるのがお松に、何よりも嬉しかつたので、出来たばかり綺麗な装ひを、お松にやらせると言つた。お松は、お松にやらせると言つた。お松は、お松にやらせると言つた。

桃源境

小瀧は招く

一日の清遊には……
どうぞ小瀧へ！

お迎へお送りに快便な馬車の用意がおります

電話小名 一〇三

吸入用酸素

純度 99%

体温器 秤ノ取箱 垂糸・修 精製シマ

ハカリス 寒暖計

モノサシ 体温器 秤ノ取箱 垂糸・修 精製シマ

一般貨物運搬

迅速低廉御取扱ひ致します

福好工業合資會社

代表者 山口唯七郎

自動車部 電話三八二番

砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します

警城平の名所

毛なか

平市及び其の附近の古跡

白水の國寶阿彌陀堂

平市の國寶阿彌陀堂は平市を離るる西方へ約一里半、約七百八十年程前、岩城太夫則道公の夫人徳尼師の創建に御歌に、佛のふたか

郡山脳病院

郡山市外大槻村針生

電話九二五番

院長 金 森 五郎

入院隨時

石綿ムシカマド

實用新案 第一八七三〇號

安便な燃料で沸かす 保温力が強く堅牢で 火の元絶對安全、御使用に御便利な 石綿製のムシカマド、近代生活のお台所 には非ず、たゞのたゞの新しい新製品で御座 います。

和洋雜貨 益屋商店

平市五丁目

關内藥局

電話四〇番

体温器 秤ノ取箱 垂糸・修 精製シマ

ハカリス 寒暖計

モノサシ 体温器 秤ノ取箱 垂糸・修 精製シマ

平市最中專門米屋

電話 前通

平市 最中專門米屋

江尻醫院

皮膚科 泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ

平市田町

電話 九六九

院長 江尻 伊三郎

入院隨意

安齊醫院

外科、内科、小兒科、皮膚科、泌尿器科、性病科

電話 四七五番

院長 安齊 徹

入院隨意

磐城の御みやび品

改め靈峰羊かん

名みやび羊羹(名産梨かん)

赤井、二ッ筒山、山祇神社、土産!

姉妹品

磐城耶馬溪……美山羊羹

同七瀬……のり羊羹

同豊間……辨天羊羹

◎各種一本十錢

小川郷 前

製造販賣元 平屋賣店

胃腸病

内科 胃腸病科

皮膚科

性病科

花柳病科

院醫科 院醫科

(老七〇一電町南市平)

比佐棟雄

電話下谷六七七番

皆醫方の爲めに御便宜を圖ります

主人 比佐棟雄

合大志館

電話下谷六七七番

皆醫方の爲めに御便宜を圖ります

主人 比佐棟雄

市内の品不足に疑惑

賣借り店は無いのか?

無戒告處罰の實施迫る

今後のボロい儲けを當て込
む商人の買り惜みと、之に
對抗せんとする消費者の買
ひ溜めと、節季から正月へ
かけて一層露骨に行はるる
ではないかと懸念され、現に
「斯んなに品が無くなる筈
がない」と最近市内各商は買
ひ溜めに對しては、今
層に漸らざる懸念は暗にの
こり、物語つて、之の取締り
行政的措置に出るべきはな
に就して中央當局でも過般
に就しては中央當局でも過
來調査研究中の處此程意
買借りしに、は暴利得な商
取締令(商工商令)を改正
し現行の廿九品目のみとな
らす全物資に擴大適用し

平署前に「木炭の山」

三千五百俵を市内へ

明後日から賣却開始

平署では木炭需として歡迎
要事に際しては、平署に
内木炭商に地元
の如く小川郷野草野米粥
湯本町御所前吉岡氏が率
先これ、應じ遊戯三回、
互り市内並に湯本町内に賣
却せられたり、

買ひ溜め處罰には

結局家宅搜索か

該當の有無氣遣はる
買ひ溜めに關する標準す、
省令の無い今日、直ぐと
云ふ問題で無いが、愈々
そうした取締りが實施さる
とせば、當局が、無と
んだ方面に對しては、一
家宅搜索の強手手段に依
る事となるべく、市内に於
ては、品目によつて別に
高が指して居るが、先
當今の品不足が生産數量
減少率より著しきものが
肝要と懸念されてゐる

元朝の名刺交換會

例年通り開催決定

元日の名刺交換會は例年の
時間と無益の酒食を節約す
る意味に於て一般から喜び
迎へられ、市でも、數年來
迎へられ、市でも、數年來
迎へられ、市でも、數年來
迎へられ、市でも、數年來

平窪全部に

納税組合

市の週間納税組合
元日午前十時から公會堂
で之を開催すべく出席者名
の印刷ものに載せる

泉青年會

泉村青年

速に組合結成に突き進んだ

結果漸く今日の成果を認め
たもので市當局では今後
於ける健全な發達を望んで
ある、これでは市内の納
合は部合百五十八組に達し
た、新設組合左の如し
△舊平窪、月見町
△舊平窪、上平七組合、中
平、下平各一〇、中道四
△波二、幕の内、大室、
△波二、幕の内、大室、
△波二、幕の内、大室、

師走の寒さ本格

今年間の平均より低下

今朝神谷農試分場の観測

師走も愈々下旬に入つて寒
さも本格的となつた。昭
和十三年迄の所關設以來
神谷農試分場観測による
平均気温三分度カチケ速
零下四度三分度カチケ速
零下四度四分度カチケ速
零下四度四分度カチケ速
零下四度四分度カチケ速

困難か

市の十五年度豫算

市の十五年度豫算は、
底實現困難と見られてゐ
る、十五年度新豫算は、
比五分減、即ち四十四萬
圓の削減である、

満洲現地視察報告

福島縣代表 志賀ナカ

それだけ機会を捉つて、
むに止まらぬから、猛烈
奮起したものと、あれで
たけの満洲にお互に忍ん
で一致協力完全を守り通
す、その内、鮮一體の委
成にたない、

街の探偵を表彰

けふから防犯週間へ

手荷物の検閲がある、口
を開いて、並べた私物、
どこのリニツクタクに、
官も、うんざりして、
「宜しい」とお許し
「宜しい」とお許し
「宜しい」とお許し

廃休と時間延長

平郵便局で年末多忙期に於ける大衆の便

宜を圖り爲替貯金、保険年金等の窓口現金

二十四日曜日は平日通り午前九時から午
後四時迄、二十九日は一時延長して午
後五時迄、三十、三十一日は二時間延
長午後六時迄
取扱ふ

目から職業を指導

平紹介所で巡回映

平職業紹介所では去る十五

日からの職業指導巡回映
に際し、目から職業の重要性
と求人紹介を普及させるべ
く十七日四時を皮切りに昨
二十日迄、大浦、豊間、江
名、大野各町を巡回、各
小学校で映演會を開き、打
て、魂の外職を、高学年見
童並にその父兄に公明大
に趣旨を説明し、二十六
日、豊間、江名、大野各町
を巡回して、一段落とする

同情袋を配布し

救済寄附金募集

方面週間と市助成會
市社會事業助成會では全
方面週間に當り、例年の
如く、各戸に同情袋を配
布し、左記日割で方面委員
市社會事業助成會では全
方面週間に當り、例年の
如く、各戸に同情袋を配
布し、左記日割で方面委員

平病院

鈴木定藏

院長 醫學博士 鈴木定藏
副院長 鈴木定藏
内科 鈴木定藏
外科 鈴木定藏
小兒科 鈴木定藏
皮膚泌尿科 鈴木定藏
物理療法科 鈴木定藏
薬剤科 鈴木定藏
診療時間 毎日午前八時午後九時迄、夜間診
時間 病急診時(急患は此限りニテ)

吉田眼科醫院

吉田久雄

院長 醫學士 吉田久雄
診療時間 毎日午前八時午後九時迄、夜間診
時間 病急診時(急患は此限りニテ)

北川外科

北川芳夫

血液検査毎日

血液検査毎日 平市新川町(電話四六四)
○入院時 醫學博士 北川芳夫

産婦人科

井坂醫院

見習看護婦入用

見習看護婦入用
平市田町 電話五五九

平市銀行

平市銀行

平市銀行
電話五五九

平市銀行

平市銀行

平市銀行
電話五五九

平市銀行

平市銀行

平市銀行
電話五五九

北川外科

北川芳夫

血液検査毎日

血液検査毎日 平市新川町(電話四六四)
○入院時 醫學博士 北川芳夫

産婦人科

井坂醫院

見習看護婦入用

見習看護婦入用
平市田町 電話五五九

平市銀行

平市銀行

平市銀行
電話五五九

平市銀行

平市銀行

平市銀行
電話五五九

平市銀行

平市銀行

平市銀行
電話五五九

北川外科

北川芳夫

血液検査毎日

血液検査毎日 平市新川町(電話四六四)
○入院時 醫學博士 北川芳夫

産婦人科

井坂醫院

見習看護婦入用

見習看護婦入用
平市田町 電話五五九

平市銀行

平市銀行

平市銀行
電話五五九

平市銀行

平市銀行

平市銀行
電話五五九

平市銀行

平市銀行

平市銀行
電話五五九

北川外科

北川芳夫

血液検査毎日

血液検査毎日 平市新川町(電話四六四)
○入院時 醫學博士 北川芳夫

産婦人科

井坂醫院

見習看護婦入用

見習看護婦入用
平市田町 電話五五九

平市銀行

平市銀行

平市銀行
電話五五九

平市銀行

平市銀行

平市銀行
電話五五九

平市銀行

平市銀行

平市銀行
電話五五九